

2026年7月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年3月12日

上場会社名 VALUENEX株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4422 URL <http://www.valuenex.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 中村 達生
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 CFO (氏名) 鮫島 正明 TEL 03 (6902) 9833
 半期報告書提出予定日 2026年3月13日 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年7月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年8月1日～2026年1月31日）

（1）連結経営成績（累計） （%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期中間期	423	64.6	61	-	64	-	64	-
2025年7月期中間期	257	△6.7	△126	-	△126	-	△125	-

（注）包括利益 2026年7月期中間期 65百万円（-%） 2025年7月期中間期 △124百万円（-%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期中間期	7.55	7.32
2025年7月期中間期	△14.72	-

（注）当社は、2026年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり中間純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期中間期	897	774	86.0
2025年7月期	911	709	77.5

（参考）自己資本 2026年7月期中間期 771百万円 2025年7月期 706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2026年7月期	-	0.00	-	-	-
2026年7月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

2026年7月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であると判断したため記載しておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年7月期中間期	8,706,600株	2025年7月期	8,706,600株
② 期末自己株式数	2026年7月期中間期	160,500株	2025年7月期	160,500株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年7月期中間期	8,546,100株	2025年7月期中間期	8,523,672株

(注) 当社は、2026年1月31日を基準日、2月1日付を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（中間期）につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算出しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は同日にTDnetで開示及び当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「世界に氾濫する情報から”知”を創造していく」ことをミッションとし、他に類のない自然言語処理・類似性評価・2次元可視化・指標化等の技術により、さまざまな文書情報を用いた各種の解析サービスを提供しております。

当中間連結会計期間における我が国経済は、内需及びインバウンド需要の回復など、社会活動の正常化の動きがみられました。一方で、国際情勢不安、円安の進行、物価上昇など、景気動向についてもいまだ予断を許さない状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、引き続き国内及び海外におけるコンサルティングサービス及びASPサービスのさらなる販売拡大に取り組んだ結果、国内のコンサルティングサービスを中心に堅調に推移いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間における売上高は423,417千円(前年同期比64.6%増)、営業利益は61,939千円(前年同期は営業損失126,412千円)、経常利益は64,757千円(前年同期は経常損失126,121千円)、親会社株主に帰属する中間純利益は64,492千円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失125,457千円)となりました。

なお、当社グループはアルゴリズム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

主なサービス別の状況は以下のとおりであります。

(a) コンサルティングサービス

当中間連結会計期間におけるコンサルティングサービスの売上高は、247,833千円(前年同期比177.6%増)でありました。

(b) ASPサービス

当中間連結会計期間におけるASPサービスの売上高は、170,972千円(前年同期比4.8%増)でありました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は823,402千円となり、前連結会計年度末に比べ27,196千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が20,174千円、仕掛品が4,933千円減少したことによるものであります。

当中間連結会計期間末における固定資産は74,097千円となり、前連結会計年度末に比べ13,173千円増加いたしました。これは主にソフトウェア仮勘定が8,848千円、ソフトウェアが4,693千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ14,023千円減少し、897,499千円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は123,291千円となり、前連結会計年度末に比べ79,176千円減少いたしました。これは主に前受金が76,433千円、その他流動負債が2,421千円減少したことによるものであります。

当中間連結会計期間末における固定負債はありません。

この結果、負債の残高は、前連結会計年度末に比べ79,176千円減少し、123,291千円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は774,207千円となり、前連結会計年度末に比べ65,152千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益を64,492千円計上し、為替換算調整勘定が659千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて20,174千円減少し、688,713千円となりました。当中間連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間末における営業活動の結果、支出した資金は3,073千円(前年同期は254,480千円の支出)となりました。これは主に前受金の減少76,887千円、棚卸資産の減少5,611千円、税金等調整前中間純利益64,757千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間末における投資活動の結果、支出した資金は16,891千円(前年同期は1,424千円の支出)となりました。これはソフトウェアの取得による支出13,192千円、有形固定資産の取得による支出3,698千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間末における財務活動の結果、獲得及び支出した資金はありません(前年同期は1,173千円の収入)。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の通期業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であると判断したため記載しておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	708,887	688,713
売掛金	84,907	85,727
仕掛品	17,036	12,103
その他	39,767	36,858
流動資産合計	850,598	823,402
固定資産		
有形固定資産	41,746	43,421
ソフトウェア	-	4,693
ソフトウェア仮勘定	-	8,848
投資その他の資産	19,177	17,133
固定資産合計	60,923	74,097
資産合計	911,522	897,499
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,136	4,960
前受金	166,571	90,137
未払法人税等	290	145
その他	30,470	28,048
流動負債合計	202,468	123,291
負債合計	202,468	123,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	82,220	82,220
資本剰余金	729,810	729,810
利益剰余金	△99,184	△34,691
自己株式	△22,291	△22,291
株主資本合計	690,554	755,047
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,729	16,389
その他の包括利益累計額合計	15,729	16,389
新株予約権	2,771	2,771
純資産合計	709,054	774,207
負債純資産合計	911,522	897,499

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
売上高	257,281	423,417
売上原価	58,964	99,689
売上総利益	198,316	323,728
販売費及び一般管理費	324,729	261,788
営業利益又は営業損失(△)	△126,412	61,939
営業外収益		
受取利息	1,107	478
為替差益	-	2,328
その他	29	10
営業外収益	1,136	2,817
営業外費用		
支払利息	1	-
為替差損	844	-
営業外費用合計	845	-
経常利益又は経常損失(△)	△126,121	64,757
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△126,121	64,757
法人税、住民税及び事業税	△663	264
法人税等合計	△663	264
中間純利益又は中間純損失(△)	△125,457	64,492
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△125,457	64,492

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△125,457	64,492
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	982	659
その他の包括利益合計	982	659
中間包括利益	△124,474	65,152
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△124,474	65,152

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△126,121	64,757
減価償却費	2,230	2,370
受取利息	△1,107	△478
支払利息	1	-
売上債権の増減額(△は増加)	40,715	△273
棚卸資産の増減額(△は増加)	△27,487	5,611
仕入債務の増減額(△は減少)	1,417	△202
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,070	△2,824
前受金の増減額(△は減少)	△102,950	△76,887
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△14,842	2,929
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△27,339	△574
その他の固定資産の増減額(△は増加)	2,255	2,255
小計	△255,298	△3,316
利息の受取額	1,107	478
利息の支払額	△1	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△288	△235
営業活動によるキャッシュ・フロー	△254,480	△3,073
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,424	△3,698
ソフトウェアの取得による支出	-	△13,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,424	△16,891
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	1,210	-
リース債務の返済による支出	△36	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,173	-
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,518	△209
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△256,250	△20,174
現金及び現金同等物の期首残高	826,014	708,887
現金及び現金同等物の中間期末残高	569,763	688,713

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)

当社グループは、アルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)

当社グループは、アルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。